

日本語を軸に広がる学びの世界が  
拓く表現の可能性



開智高等学校(埼玉県)出身  
島村 大輔さん(2年生)

中沢 けい 教授  
(小説家)

島村さん：  
法政大学の日本文学科は、近現代文学や古典を勉強するのはもちろん、能楽や沖縄文芸、漢文学を研究したり、日本語を軸に幅広く学べるのが面白いですね。

中沢教授：  
そもそも日本語とは、孤立した言語ではなく、中国やヨーロッパの影響も受けているんです。こういった面から日本語をとらえて勉強するのも、とてもダイナミックで面白いんですよ。

島村さん：  
読む・聞く・書く・話すなど、国語力がしっかり身に付くのもためになります。例えば、「書く」ことは、思考を一つにまとめて、相手にわかりやすく伝えるための作業なので、人とのコミュニケーションに役立つと思います。

中沢教授：  
人は言葉の中で成熟すると言います。人の話を聞いて、人に話ができ、読んで書ける。これが、人を大人に成長させるのですよ。

## 日本文学科の特徴

一つ一つの言葉にこだわりをもって、日本の文学や文化を見つめていくのが日本文学科です。1年次には文学・言語学の基礎を養い、2年次からは〈文学〉〈言語〉〈文芸〉の3コースに分かれ、専門を深めます。また、2年次よりゼミナールに所属し、卒業論文の執筆まで少人数による教育環境が保たれており、文芸創作・出版・編集に関する教育にも力を入れています。

### POINT 1 4年間の少人数教育で本物の言葉の力を

1年次の春学期に20名以下の「大学での国語力」を開講し、大学の学びに必要な読む・聞く・書く・話す力を養うとともに、高校までとは異なる大学での学びをマスター。秋学期にはゼミナール入門で専門的な学びに向けて準備します。2年次からはゼミナールがスタートし、専門分野の研究を深めていきます。

### POINT 2 編集や出版にかかわる授業科目も充実

プライバシー問題や著作権などを考える「表現と著作権」や、DTPソフトを用いた実習「編集実務」などを開講。また日本文学科では毎年、文芸誌を刊行し、学科生が企画・編集にあたって本づくりを経験します。



プロの作家への原稿依頼やインタビューも経験します。

### POINT 3 3つのコースと横断的なカリキュラム

日本文学科のカリキュラムは高い専門性を身につけるため、2年次のゼミナール選択により〈文学〉〈言語〉〈文芸〉の3つのコースに分かれます。学生はこのうちの1つのコースに籍を置き、ゼミナールに所属します。各ゼミは各学年10名以下の少人数制をとっており、4年次には卒業論文・卒業制作に取り組みます。さらに、所属コース以外の科目を履修することもできる横断的なカリキュラムが本学科の特色で、日本文学に関連しつつも決してその枠にとられない多彩な科目群から、自由な履修が可能となります。

文学	時代・ジャンル別に13のゼミが設けられ、作品を読む力を養います。演劇・歌謡・児童文学・中国文学など幅広い科目も展開。
言語	日本語の歴史、現代語の諸相、言語学からみた日本語など、4つのゼミで言語の複雑さや面白さをさまざまな角度から学ぶコースです。
文芸	自ら作品をつくりあげるコース。第一線で活躍する作家や評論家、編集者が5つのゼミを開講し、文芸創作の理論と方法を指導します。

日本文学科では自己推薦入試(11月)も実施しています。詳しくは大学案内／入学センターHPをご覧ください。

## 4年間の学びの流れ／カリキュラム

※日本文学科では夜間時間帯にも学べる昼夜間講制を採用しています。

	1年次	2年次	3年次	4年次						
学びのステップ	基礎科目を履修して視野を広げます。また本学科の全教員による講義を通じて学問領域を網羅的に学ぶなど、2年次以降の各自の専門分野の学びの基礎を作ります。	〈文学〉〈言語〉〈文芸〉の3つのコースに分かれてゼミナールに所属。また専門科目や編集・出版関連科目の履修が可能になるとともに、教職を目指す学生向けの科目も開講されます。	本学科に設置されるすべての専門科目の履修が可能になり関連語分野の科目もスタート。他学部や文学部内の他学科で公開されている科目も含め、学びの幅が広がります。	卒業論文の執筆がはじまります。文芸コースでは、小説・詩歌・戯曲等のジャンルで卒業制作に取り組み、優秀な卒業論文・卒業制作は本学科が発行する雑誌に掲載されます。						
共通必修科目	日本文学概論A・B 日本語学概論A・B 大学での国語力 日本文学史I A・B									
コース別必修科目	<table border="1"> <tr> <td>〈文学コース〉</td> <td>文学概論A・B 日本文学史II A・B</td> </tr> <tr> <td>〈言語コース〉</td> <td>日本語学A・B 日本文法論A・B</td> </tr> <tr> <td>〈文芸コース〉</td> <td>日本文学史A・B 文章表現論A・B</td> </tr> </table>				〈文学コース〉	文学概論A・B 日本文学史II A・B	〈言語コース〉	日本語学A・B 日本文法論A・B	〈文芸コース〉	日本文学史A・B 文章表現論A・B
〈文学コース〉	文学概論A・B 日本文学史II A・B									
〈言語コース〉	日本語学A・B 日本文法論A・B									
〈文芸コース〉	日本文学史A・B 文章表現論A・B									
選択必修科目	ゼミナール入門(仮称、2014年より新設予定) <ゼミナール> 日本文学研究ゼミナール1~16 <特講> 上代A・B・C・D 中古A・B・C・D 中世A・B・C・D 近世A・B・C・D 近代A・B・C・D 漢文A・B・C・D 言語A・B 演劇A・B・C・D 音楽芸能史A・B									
専門科目	<特講> 現代A・B・C・D 表現A・B 詩歌A・B 児童文芸A・B 沖縄文芸A・B・C・D 国際日本学A・B 特域C・D									
選択科目	書誌学 メディアと社会 音楽芸能史特殊研究A・B 編集実務A・B 編集理論A・B 古文・漢文の基礎 表現と著作権A・B 日本文学批評史A・B 日本語学特殊研究A・B 中国文芸史A・B 美術史(西洋)A・B 美術史(日本)A・B 美学・芸術学1・2 社会思想2(社会思想史)1・2 文化史1・2 ドイツ語 中国語 言語心理学 認知科学特講									
自由科目	文章論 文芸創作講座 言語学演習 日本芸能史論 漢字・漢文学 情報科学実習I・II プログラミング言語I・II データ処理論I・II ネットワーク論I・II 情報リテラシー実習I・II 国語科教育法I・II 社会貢献・課題解決教育 応用プログラミングI・II 福祉工学・IT講義									
市ヶ谷基礎科目	<基礎科目> 法政学への招待 キャリアデザイン入門 就業基礎力養成I・IIなど約90科目から選択 <文学部内他学科公開科目> <他学部公開科目>									

コース別必修科目は、コースを越えての履修可。他コースの必修科目を履修した場合、選択科目として認める。 ※カリキュラム表および科目名は、変更になる場合があります。

# 日本文学科

Department of Japanese

## 教育の理念

日本文学はいにしえより今に至るまで、「言葉」によってさまざまな「生」のありようを紡ぎ出してきました。日本文学科ではこうした観点から、文学・言語・芸能の歴史と現在を学び、人間と文化の本質に迫ることを教育理念としています。千数百年にわたって培われてきた大きな遺産を世界へ、そしてつぎの世代に伝えていくだけでなく、新たな言葉の文化を創造していくことを目指しています。そのためには、4年間で学んだ知識やそれを基にした自らの思考を的確に、そして魅力的に表現する力が必要です。日本文学科では「文学」「言語」「文芸」の3コース制を採用し、文学だけではなく、言葉の研究や文芸創作にかかわる教育にも力を入れています。

